

躍進の息吹を感じ、決意新たに

橋爪法一

議員になって初めて党大会に参加してきました。しかも、討論で発言もできました。

大会の決議案は2か月前に発表され、全国の支部や地区などで議論されてきましたが、初日の中央委員会報告では、そうした議論が反映されるとともに、2か月間に新たに出てきた動き、例えば、沖縄知事が普天間基地の移設受け入れを表明したことなども盛り込まれていました。その中には、新潟県の仲間が提案した

ものも入っていました。うれしかったですね。

びっくりしたのは、大会の2日目。20代、30代の青年代議員が次々と登壇し、なんと青年代議員の発言が13人も続いたのです。トップバッターは、参院東京選挙区で初当選した吉良よし子議員。持ち前の明るさだけでなく、しっかりとした口調で国会での頑張りを語っていました。ブラック企業に勤め、その後、苦労しながら社会の仕組みに目覚めて必

死に生きている青年の発言も、励まされるものでした。若い人たちが頑張っているのは、聴いていても気持ちいいですね。

私は、県議候補となった経緯や今後の決意を討論の場で語りましたが、何回も笑いと拍手が起こりました。なんとか役目を果たすことができ、よかったです。

会場では懐かしい仲間とも再会でき、元気をもらいました。



井上さとし参院議員、県議選新潟西区予定候補の武田勝利さん、同新潟東区予定候補の渋谷明治さんとともに県議選勝利の決意を固める橋爪市議。

日本共産党第26回大会に参加してきました



中央委員153人、准中央委員45人、合計198人の新中央委員が選挙で選出され、ステージに勢揃い。若い人がたくさん選出されました。

私は4年前に続き2回目の大会参加です。前回の第25回大会では、発言の機会も与えられました。今大会は前回と違って、参議院選で日本共産党が大きく躍進した中での大会でした。全国から800人を超える代議員が参加し、197人もの代議員が発言通告を出す中で、65人の代議員が発言しました。すべての発言が「政治が確実に変わる」大きな予感を感じるものでした。25歳の女性都議の米倉春奈代議員が、東京都議団を代表して、「声を上げれば政治は変えられる。主権者一人ひとりが政治を動かす力」と訴えたのをはじめ、若い力が全国で政治を変える最前線に立っていることが

率直に語られました。安倍自民党政権が、平和の問題でも、TPPや消費税増税、暮らしの問題でも、暴走を繰り返す中、国民の立場で悪政の暴走ときっぱりと対決し、しっかりと対案を示して、一致点で各層各界との共同を進めてきた日本共産党の姿勢に大きな共感が寄せられていることが、全国の代議員の発言で生き生きと紹介されました。「自共対決」で「日本共産党の出番」がいよいよ鮮明になっていると感じました。

私は4年前に続き2回目の大会参加です。前回の第25回大会では、発言の機会も与えられました。今大会は前回と違って、参議院選で日本共産党が大きく躍進した中での大会でした。全国から800人を超える代議員が参加し、197人もの代議員が発言通告を出す中で、65人の代議員が発言しました。すべての発言が「政治が確実に変わる」大きな予感を感じるものでした。25歳の女性都議の米倉春奈代議員が、東京都議団を代表して、「声を上げれば政治は変えられる。主権者一人ひとりが政治を動かす力」と訴えたのをはじめ、若い力が全国で政治を変える最前線に立っていることが



会場前の上野議員。日本共産党衆院北陸信越ブロック比例代表の藤野保史さんとともに

自共対決いよいよ鮮明に

上野 公悦

日本共産党第26回大会が15日から4日間熱海市で行われました。この大会には日本共産党上越市議

員団の橋爪、上野両議員が参加してきました。今号では、参加した二人の感想を掲載します。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 394 2014年1月26日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

くり返し「調整中で何も決まっていない」日米共同訓練で防衛省が説明

日本共産党の井上哲士参議院議員と新潟・長野の各県議会・市議会議員はこのほど、防衛省職員から2月に予定されている日米共同

訓練について説明を受けました。一部で「オスプレイは不参加」と報道されていますが、防衛省当局は「調整中であり未定である」との

説明をくり返しました。また、「知り得た情報は開示するが、米軍からは発表されていない」「飛行ルートなどは公表されない」と、

米軍主導で進められている姿が浮き彫りとなりました。日本共産党上越市議員団からは、平良木議員が参加しました。